

平成 30 年 7 月 25 日 10 時 30 分 ~ 11 時 30 分

司会

亀岡清泉荘 代表 松野

記録

亀岡清泉荘 代表 松野

出席者 南部地域包括支援センター・介護支援専門員 西村様、亀岡市役所・藤田さま、曾我部町・桂さま、民生委員・並河さま、後藤さま、利用者さまご家族上野さま
亀岡清泉荘・村田、中村

欠席者 南条区長・菱田さま、民生委員・八田さま、リンクす・吉川さま、

1. 7月25日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
小規模多機能ホーム登録利用者さま：26名、グループホーム登録利用者さま：8名
小規模、グループホームの利用中止の方、新規利用の方の状況報告
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. その他
南部地域包括支援センター 西村さまより
曾我部町穴太にセンターを開設して4カ月になる。曾我部町、東別院、西別院の地区を担当して、総合相談事業をはじめとして活動している。曾我部町に開設しているので、清泉荘とも連携を密にしながら、色々な広報活動や夏祭りなど行事等へも関わっていけるようにしていきたい。また、民生委員の方々とも地域ケアのあり方など相談しながら取り組んでいきたい。
8. 小規模多機能ご利用事例
独居、日中独居の方には普段よりこまめな訪問を行い水分補給や健康状態の確認を行っている。昼食後帰られていた方も日中の熱い時間帯はホームで過ごしていただけるよう対応している。
9. 身体拘束廃止の取組みについて
グループホームでは、身体拘束廃止の取組みとして指針を作成し、ケアマネと常勤職員で委員会を設置している。開設以来、清泉荘では身体拘束は行っていない。なお、身体拘束をしないように、利用者さまの自由な活動を安全・迅速に見守り、ケアをするためにコールができない方等には、センサーを設置している。歩行が不安定な方、自分で歩けると思って無理をされる方などへも、ベルトやベッド柵による拘束をせずに安全に暮らしていただけるようにしている。
8. 亀岡清泉荘へのご要望、助言等

質問・要望・助言	回答・対応
これからも暑い日が続くが、どのような対応を考えているか。	小規模では先程のように訪問の頻度を増やしたり、日中の通いの利用時間を長めにしたりして対応している。グループホームはクーラーの効いたリビングにおられるが、居室の巡回ではクーラーの確認を必ず行っている。

	<p>また、利用者さまをはじめとして地域の独居高齢者の方の支援についても民生委員の方と連携を密にして情報共有と対応の体制を確保していきたい。</p>
<p>先日の大雨のときの対応状況はどうだったか。</p>	<p>独居の高齢者の方お二人は5日と6日にホームのショートステイをご利用頂いた。今回のような緊急時はできるだけ協力できるよう受け入れ体制を整えたい。飲食料品も多少の備蓄はあるが、まだ足りないので今後充足することも検討していきたい。ご近所の災害状況も知ることができればなおいいと考えている。</p>
<p>地震対策について、居室内で亡くなるのはタンスなどの重量物が倒れてきて下敷きになることが多いと聞いている。つかえ棒をよくされているが、横揺れのが強い時には外れて効果がなくなることがある。金具などで止めることが望ましい。</p>	<p>ホーム内、単身独居の方の居室など含めて注意喚起していきたい。</p>
<p>次回、運営推進会議は平成30年10月3日（水）10時30分～12時00分までの予定。</p>	